



“パレスチナ・占領” を映像で体験する

「届かぬ声 -パレスチナ・占領と生きる人びと」
映画4部作を一挙に上映！

2010.6. **5**日/**6**日 明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー

【主催】土井敏邦・パレスチナ記録の会 【共催】シグロ / 明治大学軍縮平和研究所
【お問合せ】土井敏邦 (シグロ携帯) 090-3698-2178



JR 中央線・総武線 東京メトロ丸の内線
「御茶ノ水」駅下車 徒歩3分





届かぬ声

パレスチナ・占領と生きる人びと

Unheard Voices

Palestinians, Israelis, and the Occupation

【参加費】各部ごとに 1,000 円 / 全編参加の方は 3,000 円

※予約は必要ありません。

ジャーナリスト・土井敏邦は、1985 年以来、20 数年にわたってパレスチナとイスラエルの現場で、「“占領”という“構造的な暴力”の構図」を取材し続けてきました。

その1つの結果が、ドキュメンタリー4部作『届かぬ声-パレスチナ・占領と生きる人びと』です。今年5月5日、その全作DVDが遂に完成しました。

これらの映像は土井が1993年秋から17年間撮り続けてきた数百時間の映像を3年がかりで編集したものです。その第4部『沈黙を破る』は昨年5月から全国で劇場公開され、2009年度の石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞、キネマ旬報「文化映画部門」第1位、日本映画ペンクラブ賞「文化部門」第1位を受賞しました。

4部作DVD完成を機に、パレスチナにおける“占領”という“構造的な暴力”の実態を、みなさんに映像で“体験”してもらうために、この上映会を企画しました。

6月5日(土) リバティタワー 地下1階・1001教室

※各上映終了後に土井敏邦監督の映画解説があります。



第1部

『ガザ —「和平合意」はなぜ崩壊したのか—』

開場 13:30 開演 14:00~16:30

上映時間 125分 + 映画解説 15分

1993年の「和平合意」が、パレスチナ人住民の真の平和につながらなかった現実とその原因を、ガザ地区最大の難民キャンプ・ジャバリアに住むある家族の6年間の生活を通して描く。



第2部

『侵蝕 —イスラエル化されるパレスチナ—』

開場 16:30 開演 17:00~19:30

上映時間 121分 + 映画解説 15分

家屋を破壊され居住権を奪われるエルサレムのパレスチナ人住民たち、“分離壁”によって土地と資源を侵蝕され、国家建設の基盤を失っていく人びとの現実とその苦悩を描いていく。

6月6日(日) リバティタワー 1階・リバティホール

※5日と6日の会場は異なりますのでご注意ください。



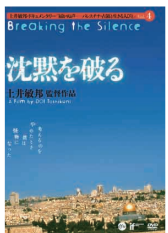
第3部

『2つの“平和” —自爆と対話—』

開場 13:30 開演 14:00~16:30

上映時間 125分 + 映画解説 15分

自爆攻撃に走ったパレスチナ人青年の遺族の証言、自爆テロの犠牲となった少女の両親や、生還した女性兵士と家族の「平和」観を通して、対話を試みるイスラエル人・パレスチナ人双方の“平和観の断層”を描く。



第4部

『沈黙を破る』

開場 16:30 開演 17:00~19:30

上映時間 121分 + 映画解説 15分

占領地で絶対的な権力を手にし、次第に人間性や倫理観、道徳心を失い、“怪物”となっていくイスラエル軍元将兵たち。自らの人間性の回復を求めつつ、占領によって病んでいく祖国イスラエルの蘇生を願って語るイスラエルの青年たちの声を伝える。



DVD-BOX『届かぬ声 - パレスチナ・占領と生きる人びと』
シグロオンラインショップ <http://www.cine.co.jp>
お問い合わせ: シグロ 03-5343-3101